



32-Channel Microphone Preamp

MP32

オーナーズマニュアル

目次

1. 製品を安全にご利用頂くために	5
2. 初めに	6
3. 主な仕様	7
4. インストール	8
5. フロントパネル	9
6. リアパネル	10
7. ソフトウェアコントロールパネル	11
8. 追加情報	13
9. 同梱品	13
10. 技術仕様	14

1. 製品を安全にご利用いただくために



感電・災害などのリスクを減らすために必ず事前にお読みください。

- ねじを外したり、カバーを開けないでください。ユーザー様ご自身で修理できるパーツはありません。修理や調整が必要な場合はテクニカルサポートまでご連絡ください。
- 水に濡れる可能性がある場所や、湿度の高い場所にさらさないでください。
- 万が一、異物や液体が製品に混入した場合は直ちに電源を落とし、コンセントを抜いてください。異物や液体が完全に取り除かれるまでは使用を控え、メーカーまでご連絡ください。火災や致命的な故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルに触れないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、必ず本体の電源スイッチを落とした状態で行ってください。
- 本体の上に物を置かないでください。また本体は、周辺機器の動作に影響を与えそうな狭く換気の乏しい場所での使用はしないでください。
- 故障が起きたときはまず電源を落とし、電源ケーブルを抜いてください。自分で直そうとせず、テクニカルサポートまたはディーラーまでご連絡ください。
- 暖房器具からの熱風が直接あたる場所や、パワーアンプの近くには設置しないでください。
- お掃除の際には強い化学薬品は使用せず、電子機器専用のクリーナーをご使用ください。
- 本体の電源を入れる前に全ての周辺機器を接続してください。
- 本製品の電源ケーブルはアースが接続されています。アースを取り付けずに本製品を使用しないでください。
- 電源ケーブルは人が踏んでしまうような場所や、他の物が上に乗ることのないように設置、接続するようにしてください。
- 本製品の電源を完全に落とす場合は、本体の電源を落としてからコンセントを外し、本体から電源ケーブルを抜いてください。
- ヘッドフォンやモニターを通して頻繁に、または長時間大きい音量・音圧に耳を晒してしまうと聴覚器官の損傷の恐れがありますので、くれぐれもご注意ください。
- 持ち運び、運送の際には必ず本製品をラックから外してお持ちください。
- 本製品は下記の温度環境で動作するように設計されています

1-50 °C、32-122°F

2. はじめに

この度は、Antelope Audio の MP32 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

32チャンネルのクリアなワールドクラスプリアンプを 2U サイズに。ライブ、スタジオ問わず幅広い環境に対応するこの最先端のレコーディング機器は Antelope Audio の Orion32 との相性は抜群です。

MP32 は 32チャンネルのコンソールグレードマイクプリアンプであり、ソフトウェアリモートコントロールと Antelope Audio が新たなアプローチで開発したアナログ回路設計を搭載しています。

Antelope のポータブルオーディオインターフェイス Zen Studio に採用された12機のマイクプリアンプを更に拡張させた 2U ラックに収まる 32チャンネルのマイクプリアンプを開発しました。MP32 は Antelope Audio のベストセラーインターフェイス Orion32 と最高の組み合わせになるように設計され、この組み合わせにより音質の完全なクリアさ、そしてコンバージョン、レコーディング、プレイバックにかかわらず、Antelope Audio のサウンドと共に、システムに一貫した信号を供給します。

それでは、MP32 で思う存分楽しみ下さい！

Antelope チームより

3. 主な仕様

- 32チャンネル、コンソールグレードマイクプリアンプ、ラインデュアルステージアンプ入力
- 1-4チャンネルはマイクプリアンプ、ライン Hi-Z デュアルステージアンプ入力
- 個別にアサイン可能なファンタム電源
- 4つの D-Sub 接続端子(32チャンネル出力)
- ソフトウェアコントロールパネル用のフルスピード USB インターフェイス
- 直感的な操作が可能なコントロールパネル。Windows/Mac 対応
- ソフトウェアコントロールパネルからレベルを $\pm 1\text{dB}$ 単位で微調整が可能。
- 4チャンネル Hi-Z コントロール
- ファンタム電源コントロール 48V

4. インストール

1. リアパネルから電源ケーブルを接続し、USB でお使いのパソコンを接続して下さい。
2. www.antelopeaudio.com/en/support/downloads より、MP32 のソフトウェアコントロールパネルをダウンロード、インストールして下さい。
3. コントロールパネルのアイコンをクリックして開き、手順に従い、起動して下さい。
4. MP32 に使用する入出力を接続して下さい。
注意：常に最新のファームウェアに更新して使用して下さい。オプションパネルを選択し、Firmware Update を押すと、最新ファームウェアの確認ができます。



本機はアクティベーション作業が必要です。この作業が完了していない場合、本機は使用できないので必ず行って下さい。

1. コントロールパネルをインストールして起動すると初期設定画面が開きます。
2. "Create Antelope ID" のポップアップメッセージが出るので、指示に従い、アカウントを作成します。Continue で次のページに進みます。既にアカウントをお持ちの方は "Use existing Antelope ID" から次のページに進みます。
3. ご登録いただいたメールアドレスに Antelope からご登録アドレスにメールが送られます。メールに記載されているリンクをクリックし、メールアカウントの確認を行います。
4. コントロールパネルでは "Sing in with your Antelope ID" というページが出るので、ご登録いただいた Username と Password をご入力いただき、Continue でさらに次のページに進みます。既にアカウントをお持ちの方は既存のものを入力して下さい。
5. "Activate your device" という画面に進み、ご購入日、ご購入店、御購入金額、為替、ご使用のDAWの情報をご入力して下さい。
6. "Done" を選択していただき、アクティベーションは完了です。

5. フロントパネル



1. 4つの Hi-Z/ マイクプリアンプ / ライン入力

左上にある4つのクラスAマイクプリアンプは Hi-Z とラインの切り替えが可能です。マイク、ラインのコンボジャックでファンタム電源に対応、Hi-Z はギターやベースなどの高インピーダンス入力に対応します。

注意：TRS 入力時はラインレベルの信号のみ対応、XLR 入力時はマイクレベルの信号のみ対応。

2. 28個の マイクプリ / ライン入力

28系統すべてに個別でファインタム電源を供給できるコンボジャックを搭載しています。XLR はマイクレベル、TRS はラインレベルのみ対応します。

3. 電源ライト

Antelope のロゴのカタチをした赤色の電源ライトは電源が供給されている状態の時に点灯します。

6. リアパネル



4. 電源ソケット

Antelope 純正のケーブルをお使い下さい。対応電圧は 95～245V です、世界中で電圧を気にせず使用できます。

5. 高速 USB

MP32 はUSB Type-B 端子を採用しています。USB を通して Windows/Mac 対応のリモートコントロールパネルから操作できます。

6. D-SUB 25pin TASCAM互換 アナログ出力×4

分岐ケーブルを使えば各8チャンネルの出力ができ、通常の D-Sub to D-Sub を使用すれば簡単に32チャンネル分 Orion32 と接続できます。

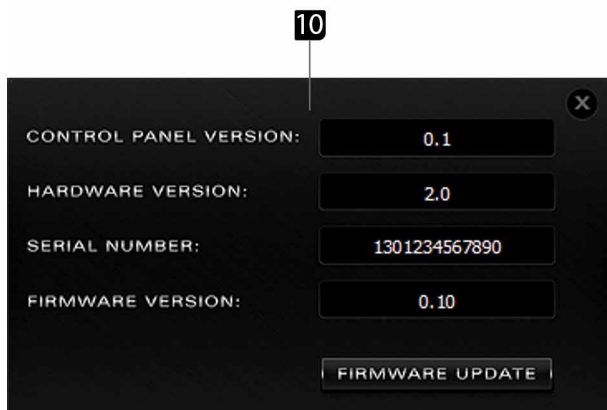
7. ソフトウェアコントロールパネル



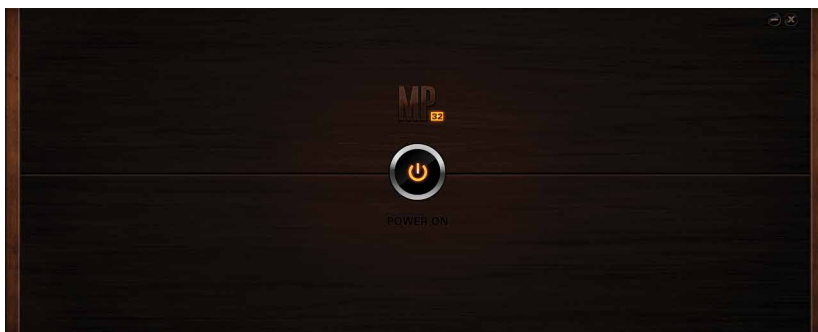
MP32 のソフトウェアコントロールパネル上では本体のすべての機能が操作できます。コントロールパネルには2種類のマイクプリアンプセクションがあり、最初の4つのプリアンプでは Hi-Z の使用が可能であり、残りは マイク/ライン のレベル調整ができます。



1. スタンバイ / 電源ボタン
2. プリセット選択ボタン1-3
プリセットを保存したい場合、Mac/Commandキー、Windows/Ctrlキー を押しながらプリセットボタンをクリックすると現在の状態が保存・呼び出しが可能です。
3. チャンネル名称 (ダブルクリックで名称変更)
4. VU メーター
5. ゲインレベルディスプレイ
(チャンネルに設定されているゲインレベルが dB 表記で表示されます。)
6. ゲインチャンネル - 1dB 単位で最大 68dB まで調整可能
7. 個別アサイン可能な 48V ファンタム電源ボタン
8. マイク、ライン、Hi-Z の選択 (入力種類によって適切に選択して下さい。)
9. ピークメーター
10. オプション画面



11. スタンバイの時、ソフトウェアコントロールパネルはデバイスが接続状態か確認します。



8. 追加情報

追加情報やファームウェア、メディアプレーヤーのアップデートは弊社ホームページサポートをご覧ください。 www.antelopeaudio.com

9. 同梱品

- 本体
- オーナーズマニュアル
- 保証書
- D-Sub ケーブル(オスーオス) 50cm ×4
- USB ケーブル×1
- 電源ケーブル ×1

10. 技術仕様

Inputs:

Analog Inputs: 32 channels Mic / Line on XLR Combos on the front panel
1-4 of 32 channels are (HiZ) - Instrument selectable XLR Combos on the front

XLR Combos Analog:

Mic (XLR only): 20dBu max balanced @ 2K Ω
Line (1/4 only): 29dBu max balanced @ 13K Ω (to gnd)
Hi-z (1/4 only): 20dBu max unbalanced @ 1,1M Ω

Outputs

Analog Outputs: 32 x Lines on 4 x D-SUB 25 (32 channels),
26 dBu max balanced @ 50 Ω

USB I/O: USB 2.0 Full-Speed Type B
For use with the software control panel.

Mic Preamp Gain: Mic

Pre: 5 to 13dB in one 8dB step, 13 to 68dB in 1dB steps
Line: -9 to 20dB in 1 dB steps
Hi-z 4 to 40dB in 1 dB steps
THD + N: 110.5 dB
EIN: -129dBu

Additional Information

Operating Temperature: 0 - 50 °C / 32 - 122 °F
Weight: 6kg/ 13lb approx.
Dimensions (approx.): Width: 482 mm/19"/Rack
Height: 88 mm/3.5"/2U
Depth: 210 mm/8.3"
Power Supply: AC Universal Input 95-264V, 50 or 60Hz
Nominal Power
Consumption: 44 Watts Max